

小型はね返りスピーカシステム

SSM0102V

SSM0102H



概要

話し手が自分の声を聞くことができないと、聞き手に聞こえているかどうか不安になるため、マイクに近づいてくることとなります。そのため、従来の小型スピーカシステムと呼ばれている製品を話し手のそばに置くのですが、スピーカシステムのサウンドがマイクロホンのサービスエリアの中に入り、ハウリングを起こしてしまうことがほとんどでした。

森本浪花音響計画有限会社では、マイクロホンのサービスエリアから外れた場所にスピーカシステムを置くことにより、ハウリングを軽減できることを体験してきました。今回開発した SSM シリーズは、1 インチのフルレンジユニットを 2 個組み込んだ小型のスピーカシステムで、マイクロホンのサービス範囲から外れた場所でありながら話し手の近くに置くことができます。話し手にとっては、自分の声をはっきりと確認できますので、話に集中でき質問者の声もはっきりと聞くことができます。

話し手が立って話をする場合と、座って話をする場合、また演壇の高さや見栄えを考慮して二種類の製品を用意いたしました。

話し手や傍聴者の机のボード裏に取り付ければ、場内の人には見えない状態で他者の話を聞くこともできます。

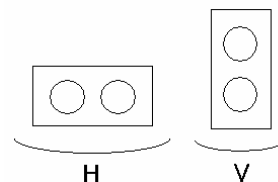
ラック内モニタや、芝居の効果音再生、切符売り場のスピーカシステム等様々な用途を考えることができます。蛍光灯のルーバを少し延長してこのスピーカシステムを取り付けてみたらいかがでしょうか？

スーパースリムライン SSL シリーズと組み合わせると、意匠設計者が納得のいく音響設備を作り上げることができます。

仕様

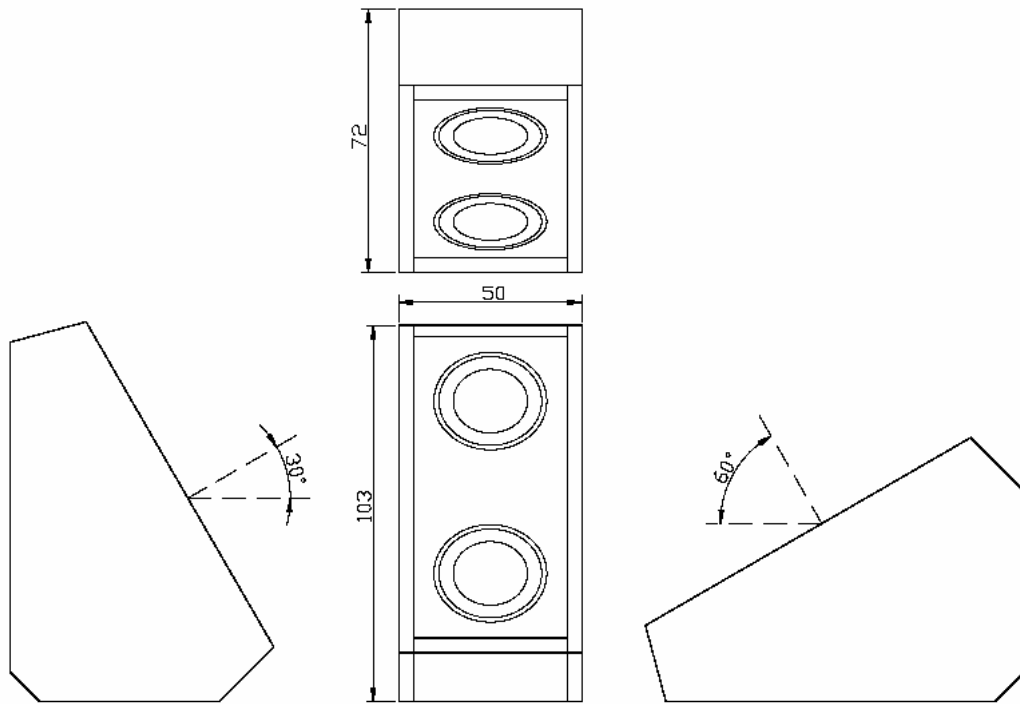
型番	SSM0102V		SSM0102H		
形式	縦型		横型		
周波数特性	125-16,000 (Hz、-10dB)				
音圧レベル感度	81 (dB SPL 1m/W)				
許容入力 125-16,000Hz 48dB/oct	短時間ピーク	80 (W) (ピンクノイズ)			
	連続プログラム	20 (W) (rms)			
	ピンクノイズ	8 (W) (ピンクノイズ)			
最大音圧レベル	短時間ピーク	100 (dB SPL 1m)			
	連続プログラム	94 (dB SPL 1m)			
使用ユニット	33mm 径全帯域ユニット(20mm 径アルミニウム振動板)x2				
インピーダンス	4 (:公称)				
寸法	高さ	103 (mm)	56 (mm)		
	幅	50 (mm)	105(mm)		
	奥行き	72 (mm)	60(mm)		
重量	150 (g)				
エンクロージャ	木製				
指向角度					
SSM0102H					
水平方向			垂直方向		
2 kHz	4 kHz	8 kHz	2 kHz	4 kHz	8 kHz
130 °	90 °	40 °	180 °	180 °	120 °
SSM0102V					
水平方向			垂直方向		
2 kHz	4 kHz	8 kHz	2 kHz	4 kHz	8 kHz
180 °	180 °	120 °	130 °	90 °	40 °

- 超小型のスピーカーユニットを使用しているため、低域の大きな振幅が入るとユニットを破壊する可能性があります。
- スピーカシステムをスピーチの再生を主として使用する場合は、125Hz のローカットフィルタ(-24dB/oct 以上を推奨)を必ず使用してください。
- スピーカシステムを音楽の再生を主として使用する場合は、160Hz のローカットフィルタ(-24dB/oct 以上を推奨)を必ず使用してください。
- 予告無く仕様変更をすることがあります。

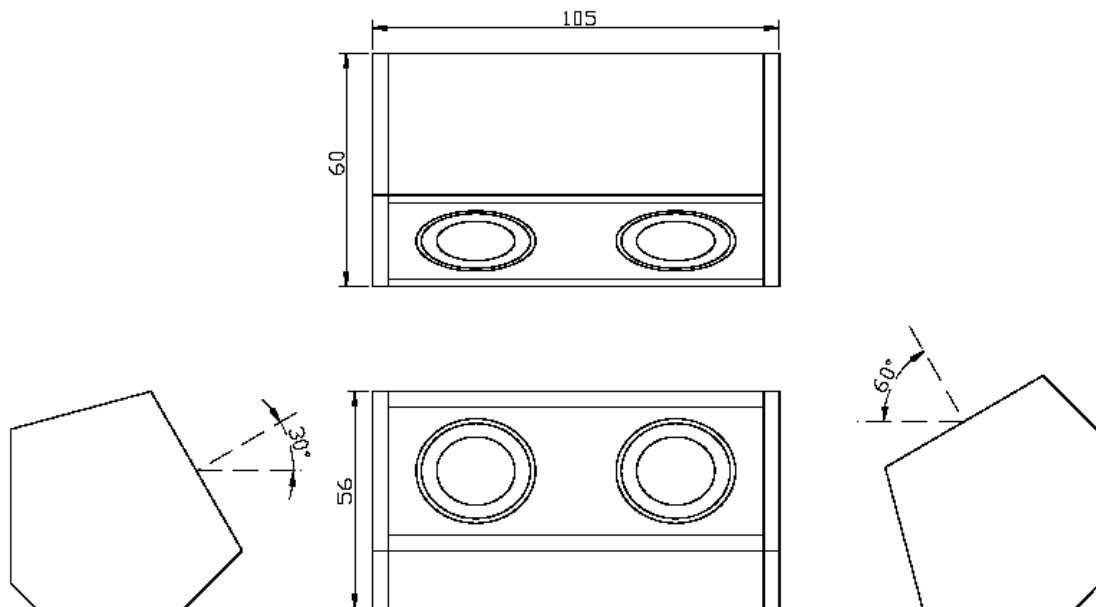


寸法図

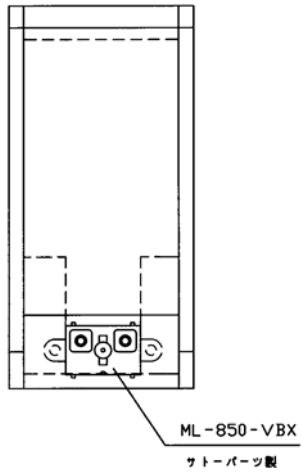
SSM0102V



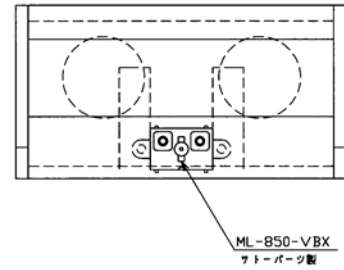
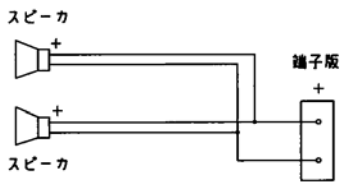
SSM0120H



後面端子図並びにユニット結線図



SSM-0102V 後面端子図



SSM-0102H 後面端子図

SSM シリーズ ユニット結線図

納入事例

- 株主総会議長用モニタースピーカ
- 議場 委員長席、発言席、答弁席用モニタースピーカ
- 議場 執行部モニタースピーカ

株主総会

議長席ハネカエリスピーカシステム

平成18年5月



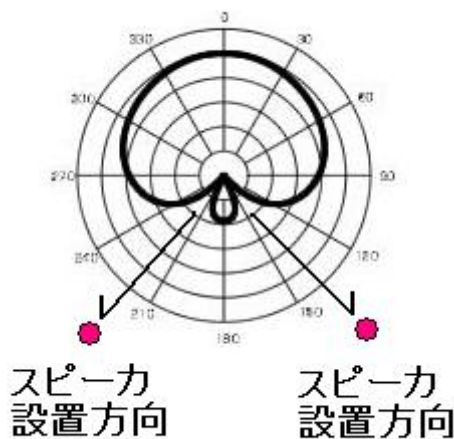
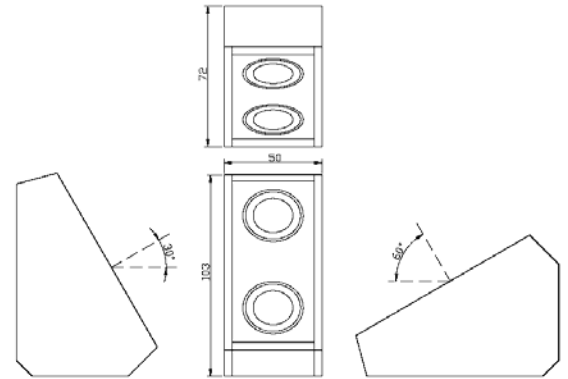
左がSSM0102Hで、発言者が立っている場合に適している。
右がSSM0102Vで、発言者が座っている場合に適している。

某大手企業が開催した株主総会の議長席に
SSM0102Vが使われた。

発言者の意見を明確に聞き取ると共に、自分の声を確実に聞き取り、説得力のある話ができているかを確認する。

今まで、どのような小さなスピーカを使っても、発言者の直近に置くことができないため、明瞭性を損なったり、ハウリングを起こしたりする原因となっていたが、SSMシリーズは非常に小型であるため、発言者のすぐそばに置くことができる。マイクの指向範囲からはずれた場所に置くことによりハウリングを起こしにくくなり、発言者に適切な音量で音を返してあげることができる。

発言者が座っていることが多い場合にはSSM0102Vを、発言者が立っていることが多い場合にはSSM0102Hを使うと良い。

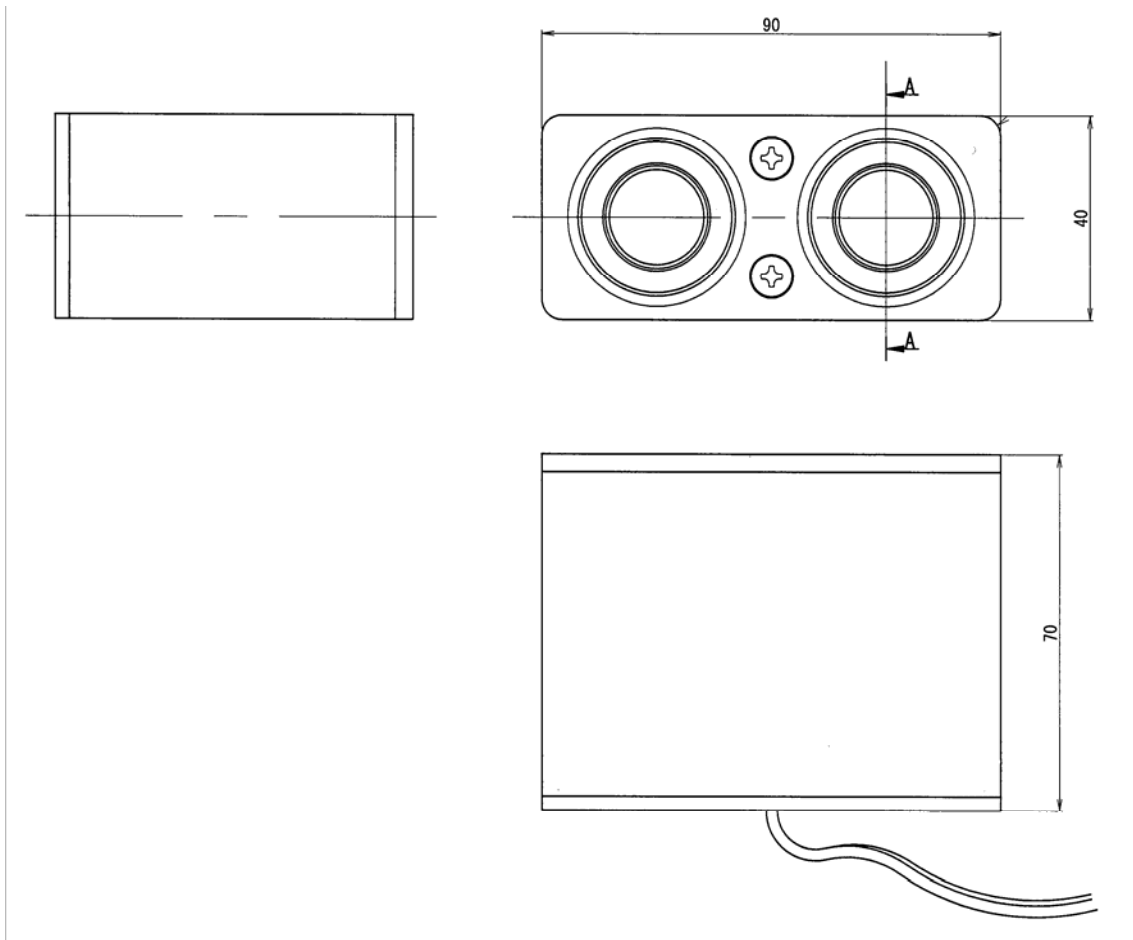


発言者が使うマイクは超指向性マイクではなく単一指向性マイクを使い、発言者の口元にできる限り近づける努力をすること。単一指向性マイクといっても、左図のように後方の音を拾ってしまう範囲が必ずあるので、スピーカはその範囲をはずして置くようにすること。

SSMシリーズは株主総会だけでなく、議場の発言席、ホールや講堂の演壇、ニュースのキャスター席、パネルディスカッションのパネラー席等、今まではねかえりスピーカが置けなかった場所に目立たつことなくさりげなく置くことができる。

納入先 (株)ティーピーオー様

SSM0102A



型番	SSM0102A				
周波数特性	125-16,000 (Hz、-10dB)				
音圧レベル感度	81 (dB SPL 1m/W)				
許容入力 125-16,000Hz 48dB/oct	短時間ピーク	80 (W) (ピンクノイズ)			
	連続プログラム	20 (W) (rms)			
	ピンクノイズ	8 (W) (ピンクノイズ)			
最大音圧レベル	短時間ピーク	100 (dB SPL 1m)			
	連続プログラム	94 (dB SPL 1m)			
使用ユニット	33mm 径全帯域ユニット(20mm 径アルミニウム振動板)x2				
インピーダンス	4 (:公称)				
寸法	高さ	40 (mm)			
	幅	90 (mm)			
	奥行き	70 (mm)			
重量	300 (g)				
エンクロージャ	アルミ				
指向角度					
水平方向			垂直方向		
2 kHz	4 kHz	8 kHz	2 kHz	4 kHz	8 kHz
130 °	90 °	40 °	180 °	180 °	120 °

- 超小型のスピーカユニットを使用しているため、低域の大きな振幅が入るとユニットを破壊する可能性があります。
- スピーカシステムをスピーチの再生を主として使用する場合は、125Hz のローカットフィルタ(-24dB/oct 以上を推奨)を必ず使用してください。
- スピーカシステムを音楽の再生を主として使用する場合は、160Hz のローカットフィルタ(-24dB/oct 以上を推奨)を必ず使用してください。
- 予告無く仕様変更をすることがあります。

用途

- 1U パネルに取り付けてラック内検聴モニタとして
- 人形埋め込みスピーカとして
- 効果音一次音源として
- スタジオモニタとして

納入事例

- 放送局中継車 ラック検聴モニタ
- 京都放送 調整卓検聴モニタ
- 某社役員会議室演壇
- 某社役員会議室音響設備個別はね返りスピーカシステムとして

SSM0102A 応用例

パワーアンプ一体型(パワードスピーカ) SMP



8ワット x 2 のパワーアンプと一体型



ブラケットを取り付け



ブラケットとスタンドを取り付け

バッテリーパックも使用可能(別売)

コンポーネント型 SSS



同じ形をした片側チャンネル 20 ワットのパワーアンプと組み合わせ

ラックマウント型 SRM

片チャンネル 8 ワットのパワーアンプと組み合わせしたラックマウントモニター

